

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人日南福祉会

I 事業の概要

1. 総括

令和3年度は、介護報酬改定があり改定率0.7%（うち0.05%相当が令和3年9月末までの新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価）とされ、プラス改定ではあるが基本報酬への組み込みによる評価見直しや加算の整理統合など運営基準の見直しも含めた業務改善、介護現場革新が求められるものとなりました。

一方で、2020年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施してきました。感染対策として、ご利用者やご家族に施設への面会制限やサービスご利用時における制約などのご理解とご協力をお願いするとともに、職員には、他県への往来制限、外食禁止やマスク着用の徹底など感染状況を踏まえて対策を行い周知してきました。

重症化等を防ぐためにワクチン接種が実施されてきましたが、国内の感染状況もなかなか収束せず、新たな変異株も確認され、未だに先の見えない状況が続いています。幸いにも法人職員には罹患者なく約2年が経過しました。

特養、グループホームの施設サービスの充実と訪問介護、通所介護事業を維持、継続する事業運営のあり方など、法人として次の項目を重点的な項目と位置づけ取り組んできました。

1. 事業継続に向けた経営・業務改善
2. 地域・事業課題に対する新たな取組み
3. 人材育成と組織強化

まず、法人の経営改善として人事制度改革について、令和2年度検討し、新給与体系及び人事考課制度の見直しを行ってきました。令和3年度には、新給与体系について労働組合との協議や正職員との個人面談を行い令和4年度実施に向けて移行準備をし、また人事考課制度の運用について外部コンサルタントとの協議を重ねて下期には試行を行ってきました。人事考課制度の導入と運用について、研修前にコンサルタントと打合せを行い、スケジュール、考課手順等を確認していきました。5月から7月には試行運用を並行して行い、実施後アンケートにより職種別考課表の作成やデータの管理などの課題を整理しました。職員研修としては2回目の考課者研修を行い、考課者としての考課の仕方、面接や育成の方法に関する理解を深めました。また被考課者にも研修を行い、人事考課の目的、共有を図りました。9月からは実際に人事考課を行い、11月には最終評価の集計まで行いました。

つぎに職員の確保については、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、引き続き就職説明会が中止となり、WEBによる説明会が数回行われました。しかし、求職者との接点を十分に持つことができず、なかなか応募まで至りませんでした。人材育成は、新人職員を特養において3年間の育成プログラムをもとに、日頃の業務での指導に加え、定期的な面談や必要な研修への参加など、一人一人の成長段階を確認しながら育

成に取り組んできました。また法人職員として、事業における必要な外部研修や資格取得については助成制度により支援を行い、あかねの郷で介護福祉士実務者研修を開講し、介護福祉士養成にも取り組みました。

特養、グループホームでは、「感染を持ち込まない」を徹底して、感染対策を実施してきました。また短期入所生活介護事業は、新型コロナウイルス感染症に関連して昨年度末より空床利用に変更しました。

在宅サービス（デイ、ヘルパー）は、令和3年度も日南町からの支援をいただき、継続して地域ニーズに基づき、行政、医療との連携を図りながら在宅サービスの継続並びに地域包括ケアシステムの推進による日南町における福祉事業の充実を目指してきました。

また、引き続き送迎時、訪問時の検温、体調管理等について、ご理解とご協力をお願いし、感染対策を講じてきました。デイサービスでは、「3密」対策として、デイ食堂と地域交流ホールを使用する形で一定の間隔が確保できるよう感染対策を取りました。

さらに令和3年度は、高齢者生活支援サービス事業として『あかね荘』を東上町1丁目ユニットにおいて実施することとしました。令和2年度は、冬期間に委託事業として入所事業を行っていましたが、今年度は年間を通して入所できる施設として受入することとしました。当初定員5名でスタートし、冬期間（12月～3月）に向けて定員10名に変更しました。

介護人材確保のための施策で経験・技能のある介護職員等を対象とした「介護職員等特定処遇改善加算」について、令和3年度は介護職員の処遇改善に重点を置くこととし、一時金として支給をしました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、今年度も保健師による定期相談は実施できませんでしたが、継続してより良い職場環境を整備していくために、メンタルヘルスやハラスメントなどの対応について研修や実践を重ねてきました。

2. 事業別概況

(1) 社会福祉事業

①特別養護老人ホームあかねの郷

平成17年4月より日南町の指定管理を受けて、公設民営の小規模生活単位型施設として運営を開始し、16年が経過しました。令和3年度は、90床の受入体制として運営してきました。

医療的ケアユニット体制や福祉用具を活用した安楽な介護の実践、24時間シートによる情報共有の取組み、日南町に導入していただいたシャワー入浴機器による業務改善と効率化を行い、さらに日頃の様子やイベントなどの様子を事業所内に掲示、SNSへ掲載し、広く事業所の取組みや様子を広報してきました。

また、第三者評価を実施し、提供するサービスの内容について客観的・専門的な評価を受けました。現状を把握し、課題を明らかにして今後の業務改善につなげます。

延べ利用者数 32,800名：通算利用率 99.8%(対定員 90)，前年度比 55名増

②老人短期入所事業（特別養護老人ホームあかねの郷）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関連して空床利用での運用としました。県内及び近隣地域における感染状況を踏まえて対策を講じる中で、ご利用について制限等をしたことによる減少となりました。

延べ利用者数 121名：通算利用率 3.3%(対定員 10)，前年度比 123名減

【介護】117名，【支援】4名

③老人デイサービス事業、障がい福祉サービス事業（生活介護）

令和3年度は、事業所を統合して1年が経過し、運営体制や業務改善を行い、ご利用者の様態により『介護・支援・特化』の3区分に分けてサービス提供を行い、パズルや脳トレなどのご利用者個々にできる趣味、運動あるいは運動機器類を使用したご利用者の身体運動機能の維持を主としたメニューを提供してきました。また、総合支援法による障がい福祉サービス（生活介護）を提供してきました。

「あかねの郷」（定員一般型 45+15名：週6日開所，特化型 10名：週5日開所）

延べ利用者数 14,428名 前年度比 599名減

【介護】8,152名，【支援】3,878名，【事業対象者】2,223名，【生活介護】175名

④老人居宅介護等事業、障がい福祉サービス事業（居宅介護）

令和3年度、訪問介護事業所「ホームヘルプセンターにちなん」では、引き続きご利用者一人一人の状態に合わせて、在宅生活で本当に必要なサービスについて検討し、地域支援など社会資源を活用して生活を支える取組みをご家族、関係機関と協議し、サービス提供に反映してきました。また、総合支援法による障がい福祉サービス（居宅介護）にも同様の取組みを実施してきました。

延べ利用件数は、6,195件：前年度比 139件減

【介護】2,746件，【支援】2,663件，【事業対象者】62件，【居宅介護】724件

⑤認知症対応型老人共同生活援助事業

令和3年度は、2ユニット（18名）にて運営を行ないました。

ご利用者とのかかわりの時間を増やす取組みとして、カラオケ機器を使ったレク活

動、体操やテラスでの野菜、花の栽培などをユニットごとに行ってきました。

延べ利用者数 6,534 名：通算利用率 99.5%(対定員 18), 前年度比 22 名減

(【介護】 6,534 名)

(2) 公益事業

①居宅介護支援事業、介護予防支援事業

平成 17 年度当初から、在宅サービス利用者の利用計画、調整などの支援事業として居宅介護支援施設「ケアプランセンターあかねの郷」を運営しました。介護予防の利用対象者が昨年度に続き増えましたが、延べ利用数全体としては昨年度より減となりました。

延べ利用件数は、2,665 件：前年度比 203 件減

(【介護】 1,249 件, 【支援】 1,127 件, 【事業対象者】 289 件)

②事業所内保育事業

令和 3 年度も日南町の施策支援を受けながら利用料軽減も行い、継続して「事業所内保育事業」の運営を行いました。利用は、平日スポットと土曜、祝祭日が主で、コロナ禍の状況において、定期的な検温など体調管理に留意しながら過ごしました。

延べ利用者数 261 名：前年度比 40 名減

(3) 収益事業

①高齢者生活支援サービス事業

高齢者生活支援サービス事業として『あかね荘』を運営しました。町内の高齢者で独居あるいは退院後の生活に不安等がある方などを対象として、年間を通して入居できる体制で、あかねの郷東上町 1 丁目において行いました。

延べ利用者数は、1,250 名

以上の事業展開により、令和 3 年度の事業活動収支は、事業活動収入額 759,692 千円、事業活動支出額 724,289 千円、事業活動資金収支差額 35,403 千円となりました。

II 活動状況

1. 法人の運営

(1) 役員会等の開催

①評議員会

(出席評議員全員承認)

会議等	時期	内容
第92回評議員会	令和3年 6月22日	令和2年度計算書類及び財産目録の承認について 役員（理事及び監事）の選任について
第93回評議員会	令和3年 12月9日	令和3年度資金収支補正予算の承認について 令和3年度指導監査指摘事項報告並びに是正及び改善の承認について
第94回評議員会	令和4年 3月23日	令和3年度資金収支補正予算の承認について 令和4年度事業計画並びに資金収支予算の承認について

②<理事会開催>

(出席理事全員承認)

会議等	時期	内容
第147回理事会	令和3年 6月1日	給与規程の一部改正について 人事考課規程の一部改正について 令和2年度事業報告書並びに計算関係書類等の承認について 役員候補者の推薦案と議案提案について 評議員候補者の推薦案と議案提案について 第5回定時評議員会の招集について 車椅子移動用自家用車及び軽自動車の更新（リース契約）について 第2回評議員選任・解任委員会の招集について
第148回理事会	令和3年 6月22日	理事長の選定について 令和3年度夏期賞与の支給について 評議員会選任解任委員の選任について
第149回理事会 (みなし決議)	令和3年 8月10日	「給与規程の一部改正について（6/1理事会決議事項）」の撤回について 給与規程の一部改正について
第150回理事会	令和3年 9月27日	就業規則の一部改正について 準職員就業規則の一部改正について 給与規程の一部改正について
第151回理事会	令和3年 12月1日	令和3年度資金収支補正予算について 令和3年度冬期賞与の支給について 経理規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 令和3年度第1回臨時評議員会の招集について 令和3年度指導監査指摘事項報告並びに是正及び改善について

第152回理事会	令和4年 3月15日	就業規則の一部改正について 準職員就業規則の一部改正について 経理規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 事務専決及び代決規程の一部改正について ストレスチェック制度実施規程の一部改正について 役員賠償責任保険の加入及びこれに伴う法人の保険料負担について 令和3年度資金収支補正予算について 令和4年度事業計画並びに資金収支予算について 令和3年度第2回臨時評議員会の招集について
----------	---------------	---

③<任意監査>

会議等	時期	内 容
任意監査	令和3年 5月20日, 21日	令和2年度決算について

④<監事監査>

会議等	時期	内 容
監事監査	令和3年 5月13日 ～5月21日	令和2年度事業報告並びに決算について (監査報告書 令和3年5月21日提出)

(2) 経営会議の開催

- ・ 管理会議 (隔週開催)
- ・ 運営会議 (隔週開催)

(3) 各種委員会の開催

- ・ 安全衛生委員会 (毎月開催)
- ・ 入居選考委員会 (毎月開催)
- ・ 苦情解決・接遇改善委員会 (毎月開催)
- ・ 苦情改善第三者委員会 (4月開催：書面にて)
- ・ 感染症対策委員会 (毎月開催)
- ・ 安全委員会 (毎月開催)
- ・ 身体拘束廃止委員会 (奇数月開催)
- ・ 人材育成 (運営会議、内容に応じ特養会議に合わせ実施)

2. 教育研修

(1) 内部研修

研修名	講師	参加者
管理・指導者の研修		
被考課者研修	日本経営 鈴木大海、宇野明人	94
考課者研修	日本経営 鈴木大海、宇野明人	27
考課者研修（面談）	日本経営 鈴木大海、宇野明人 施設長 入澤良子	26
考課者研修	日本経営 鈴木大海、宇野明人	28
コンプライアンス等に関する研修		
身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	108
コンプライアンス研修 （第1回、第2回、録画視聴）	米子東町法律事務所 橋澤弁護士 安田社会保険労務士事務所 安田社会保険労務士	278
リスクマネジメント研修		
リスクマネジメント研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	140
感染症予防研修	「福祉施設等の職員を対象とした新型 コロナウイルス感染症対策の研修動 画」 埼玉県 HP より	136
	ガウンテクニック DVD 視聴と実技	108
救命講習	江府消防署生山出張所 応急手当指導員 川上絵里子 応急手当指導員 西村猛志 応急手当普及員 絹谷和也 応急手当普及員 田中庸子 応急手当普及員 高橋美枝 応急手当普及員 生塩浩二	119
安全衛生に関する研修		
管理職メンタルヘルス研修	ヘルスポモーションサポートオフィス 渡部保健師	9
職員メンタルヘルス動画研修	厚労省 HP 「こころの耳」 より 動画で学ぶ「メンタルヘルス教室」	142

(2) 外部研修

研修名	主催者等	参加者
経営関係		

社会福祉法人の新制度における評議員の改選手続き	一般社団法人全国福祉法人協会	1
社会福祉法人の新制度における理事・監事の改選手続き	一般社団法人全国福祉法人協会	1
令和3年度社会福祉施設経営者研修	社会福祉施設経営者協議会	3
令和3年度全国経営協都道府県セミナー	鳥取県社会福祉協議会	1
会計実務講座（1学期）	中央福祉学院	1
会計実務講座（2学期）	中央福祉学院	1
会計実務講座（スクーリング）	中央福祉学院	1
社会福祉法人会計セミナー	独立行政法人福祉医療機構	1
中長期戦略セミナー	川原経営総合センター	1
社会福祉法人基準実践的基礎研修	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	1
社会福祉法人実践的決算コース	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	1
科学的介護経営メソッド導入	日本経営	1
介護報酬改定の説明オンデマンド配信		1
監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1
人材育成関係		
令和3年度キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	鳥取県社会福祉協議会	1
令和3年度キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）		4
令和3年度キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）		4
令和3年度キャリアパス対応生涯研修（管理職員コース）		1
老人福祉施設職員研修会IV	鳥取県老人福祉施設協議会	1
リスクマネジメント関係		
福祉サービス苦情解決事業研修会WEB	鳥取県社会福祉協議会 鳥取県福祉サービス運営適正化委員会	6
応急手当普及員再講習	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	2
乾燥設備作業主任者技能講習	鳥取県労働基準協会	2
安全運転管理者等講習	鳥取県公安委員会	2
感染症BCP作成ポイント		1
自家用有償旅客運送認定講習	米子自動車学校	3
社会福祉事業対象クレーム対応基本勉強会WEB	米子東町法律事務所	1
労務管理関係		

鳥取県令和新時代創造本部女性活躍推進課	鳥取労働局健康安全課	1
職場環境の改善-ハラスメント対策-	労働政策フォーラム	1
労働局改正育児・介護休業法	鳥取労働局雇用環境・均等室	1
母性健康管理研修会	雇用環境・均等局雇用機会均等課	1
社会福祉施設安全衛生管理講習会	鳥取労働局健康安全課	1
労務リスク対策実践セミナー	勤次郎（株）	1
社会保険・労働保険の基礎実務セミナー	日本経営協会	1
職場におけるハラスメント問題とその対策について	鳥取労働局	1
過重労働解消のためのセミナー	過重労働解消のためのセミナー事務局	1
管理者向け定着研修	全国老人施設協議会	1
令和3年度職場環境改善研修	鳥取県社会福祉協議会	1
令和3年度外国人介護人材受入セミナー	鳥取県長寿社会課	1
介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター	1
メンタルヘルス関係		
職場におけるこころの健康づくりの推進のための講習会	鳥取労働局	1
ほっと安心日南町こころの健康づくりネットワーク会議・研修会	日南町福祉保健課	1
人権・権利擁護に関する研修		
同和問題職場研修会	日南町同和教育推進協議会	25
令和3年度障がい者虐待防止等研修会 WEB	鳥取県社会福祉士会	1
令和3年度人権尊重の社会づくりセミナー	鳥取県	2
知ることから始めよう！LGBT と働きやすい職場づくり	人権センター	1
介護支援専門員の実務に関する研修		
令和3年度鳥取県介護支援専門員連絡協議会 WEB 研修	鳥取県介護支援専門員連絡協議会	2
令和3年度主任介護支援専門員研修	鳥取県社会福祉協議会	1
令和3年度主任介護支援専門員更新研修	鳥取県社会福祉協議会	1
令和3年度介護支援専門員更新研修	鳥取県社会福祉協議会	6
令和3年度介護支援専門員支援研修	鳥取県社会福祉協議会	1
看護師の実務に関する研修		

介護福祉士の実務に関する研修		
令和3年度介護職種の実習指導員講習	一般社団法人鳥取県介護福祉士会	1
喀痰吸引等研修	鳥取県長寿社会課	1
口腔ケアWEBセミナー	雪印ビーンスターク株式会社	1
グリーンケアファーム	日本ケアサプライ他	1
障がい者ヘルパー事業所サービス提供責任者研修	鳥取県	1
令和3年度鳥取県認知症介護基礎研修	鳥取県（敬仁会）	4
令和3年度鳥取県認知症介護実践リーダー研修	鳥取県（敬仁会）	2
ユニットケアに関する研修		
ユニットリーダー研修	一般社団法人個室ユニット型施設推進協議会	1
福祉用具等に関する研修		
ユニ・チャームオンラインセミナー	ユニ・チャーム	1
ポジショニング研修	パラマウント(株)	2
調理に関する研修		
嚥下調整食の調理に関するオンラインセミナー		10
令和3年度鳥取県栄養管理研修会		2

(3) 人材育成

① 新採用職員研修

令和3年4月1日開催

(令和3年度の新採用、事務員1人、看護師1人対象の研修)

<研修内容>

- ・法人の理念と運営方針、職場秩序について
- ・就業の基本、給与規程
- ・安全衛生教育
- ・人事考課制度について
- ・地域医療と福祉
- ・感染症対策
- ・高齢者虐待と身体拘束
- ・緊急時の対応、リスク管理の基本

② 人事考課制度の運用

- ・働き方の指針（行動基準）及び業務標準（職種別）の内容見直し
- ・個別面談（一次考課）と内容の検証、整理、フィードバックの伝え方
- ・評価表、働き方の指針などのツールや考課期間、結果の反映について

③ 人材育成会議内容（運営会議、特養部門にかかるものは特養会議に合わせ実施）

- ・職員研修計画について
- ・人材育成体制の充実化（階層別研修）
- ・社内研修報告について
- ・動画マニュアルの作成
- ・求人について
- ・実習指導について
- ・資格取得に向けての支援（介護福祉士実務者研修、ケアマネジャー資格取得）

④ 法人内実践報告会

令和4年3月5日開催

→ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため法人職員のみで開催

※各報告を撮影してDVDに保存し、後日各部署で閲覧及びホームページにYoutube動画として掲載。

【職員報告】

演 題	報 告 者
デイサービスのレクリエーション	デイサービスセンターあかねの郷 三上 さゆり
気持ちのよいオムツ内環境を目指して	特別養護老人ホームあかねの郷 ヘルスケアチーム
人材育成の現状と課題について	事業統括部 特別養護老人ホームあかねの郷 入澤 良子
健康とは ～セルフケアと健康経営～	総務課 白根 由恵

⑤ 令和3年度中の採用者数

新採用者 4月1日 2名

正職員登用者 4月1日 1名

定年退職再雇用者 4月1日 3名

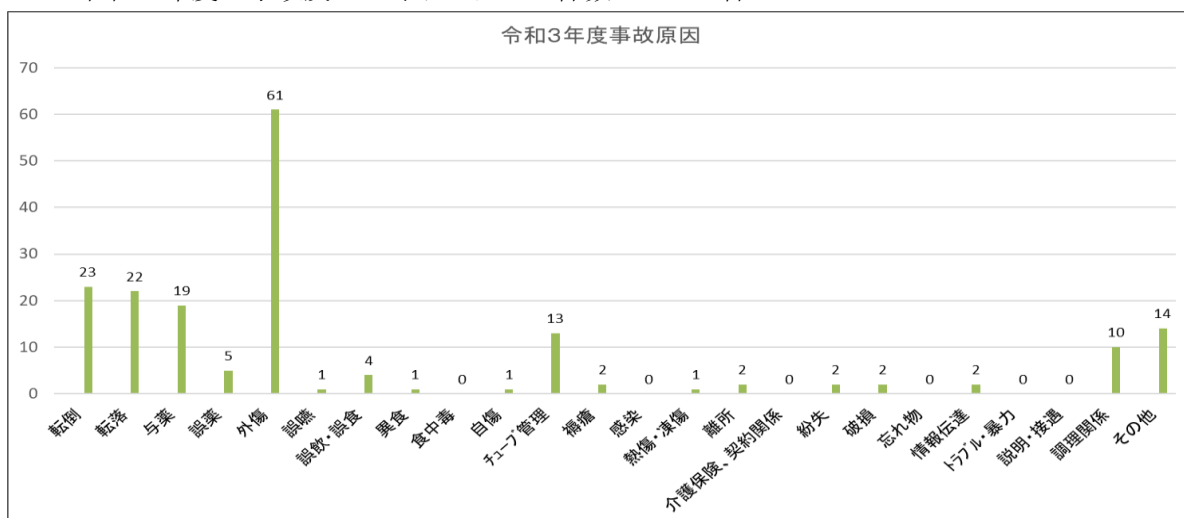
定年退職非常勤採用者 4月1日 1名

中途採用者 14名

3. リスクマネジメント

(1) 特別養護老人ホームあかねの郷

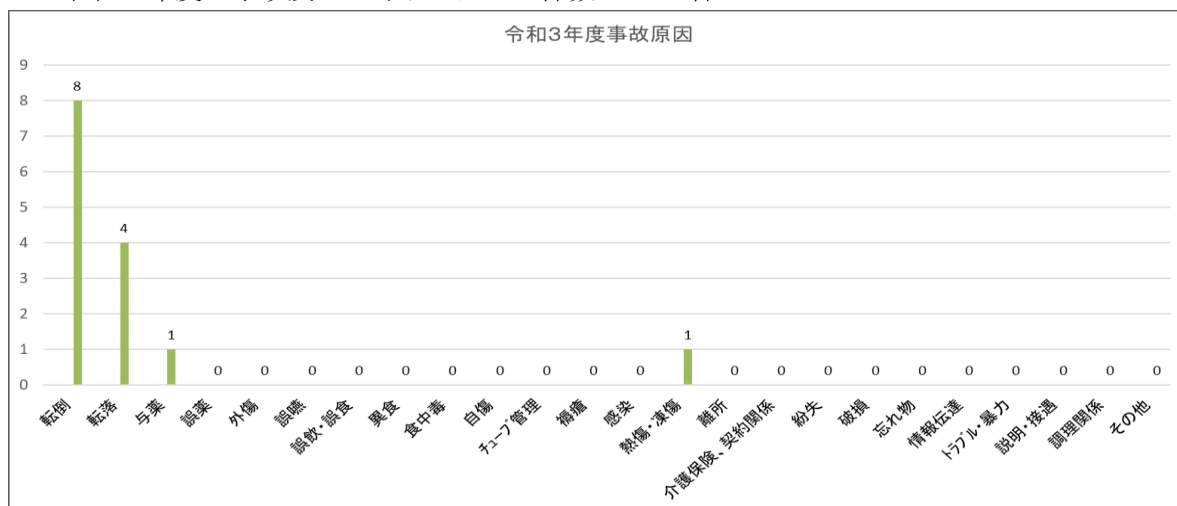
令和3年度 事故及びひやり・はっと件数 185件



- ・ひやり・はっと報告は、レベル2が一番多く99件で、次いでレベル0の85件だった。
- ・事故種類別に上位をみると、外傷61件、転倒23件、転落22件、与薬19件の順になっている。
- ・令和2年度と比較し、特養全体の報告件数は11件減少した。
- ・褥瘡10件、チューブ管理5件、調理関係10件減少したが、転倒5件、与薬8件増加した。

(2) グループホームあさひの郷

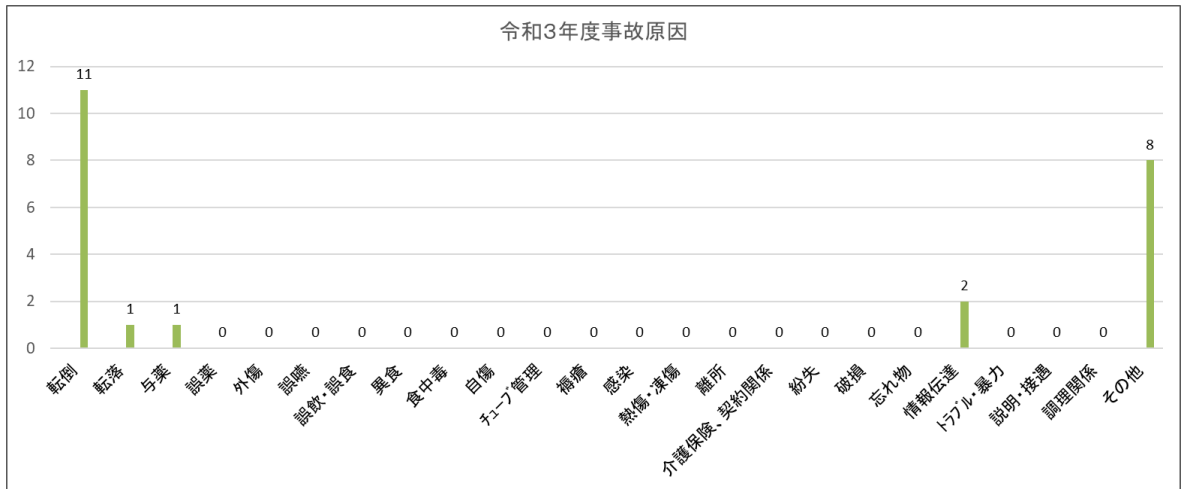
令和3年度 事故及びひやり・はっと件数 14件



- ・ひやり・はっと報告は、主にレベル1及びレベル2で、令和2年度と比較して全体で30件減少した。
- ・事故種類別に上位をみると、転倒8件、転落4件の順になっている。
- ・転倒11件、与薬8件、転落5件、離所3件減少した。

(3) デイサービスセンターあかねの郷

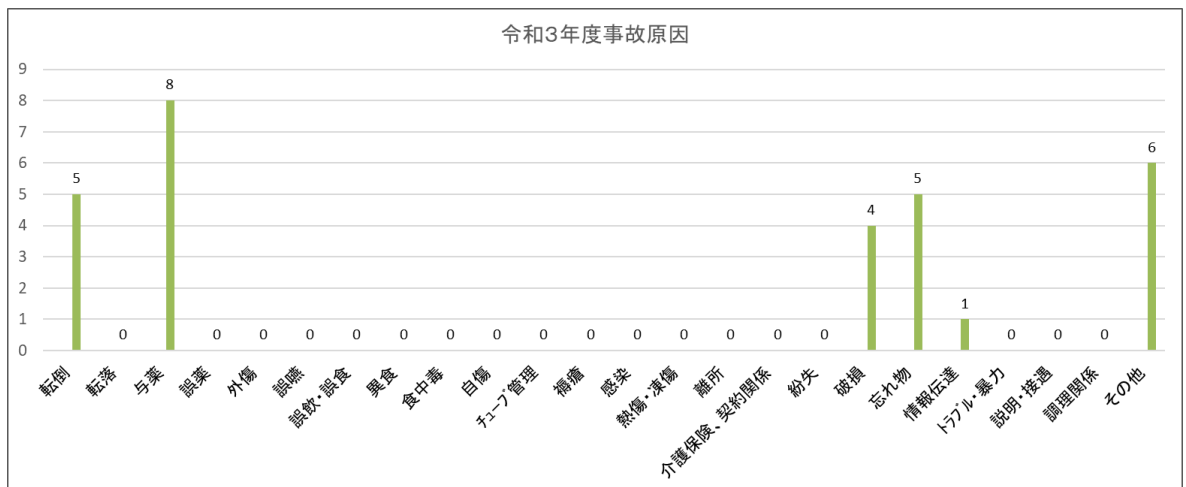
令和3年度 事故及びひやり・はっと件数 23件



- ・ひやり・はっと報告が全体で23件となった。
- ・事故種類別では、転倒11件、その他8件情報伝達2件の順となっている。

(4) ホームヘルプセンターにちなん

令和3年度 事故及びひやり・はっと件数 29件

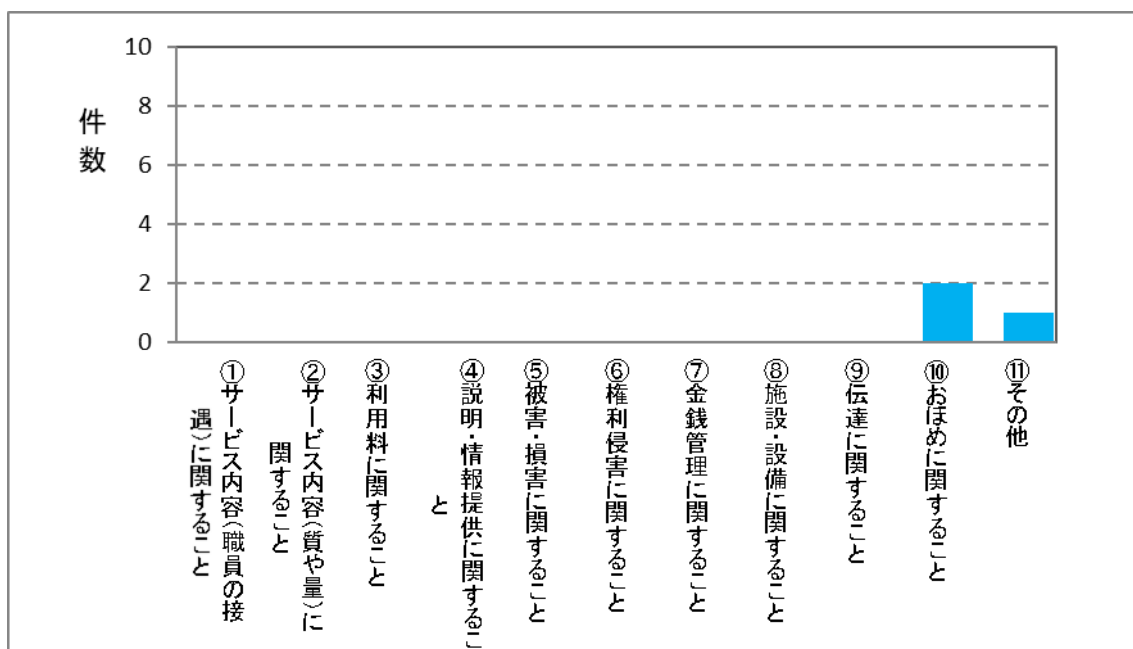


- ・ひやり・はっと報告が全体で29件となった。
- ・事故種類別では、与薬8件、その他6件、転倒と忘れ物各5件の順となっている。

レベル0：実施されていないが実施されれば被害が予想される
 レベル1：実施されたが被害がなかった
 レベル2：事故により何らかの変化が生じ、観察及び検査の必要性が生じた
 レベル3：事故により治療の必要性が生じた
 レベル4：事故による被害が一生続く
 レベル5：事故が死因となる

4. 苦情、要望、意見、おほめ

＜苦情、要望、意見＞



・ 苦情、意見等の総件数 3 件

- ・ 令和3年度の苦情、意見等の総件数は、令和2年度より13件少ない3件であった。
- ・ 苦情、意見等の主な内容は、おほめに関する事であったが、新型コロナウイルス感染症の国内での感染状況から面会等の制限をしたことにより意見箱などへの投書が少なくなった。コロナ禍で遠方からの面会の機会が難しい状況の中、引き続きスマートフォンでの動画撮影やオンライン面会などの工夫を行った。
- ・ 感謝の言葉などをいただくことは、職員にとって大きな励みに繋がっており、感謝と喜びは充分感じながら、これに慢心することなく更なるサービス内容の充実に努めたい。

5. 地域貢献活動

(1) 実習等受け入れ

- ・ 新見公立大学 6月28日～7月24日(2名)、12月6日～12月18日(2名)
- ・ 大阪健康福祉短期大学(安来キャンパス) 10月25日～11月17日(2名)
- ・ 島根総合福祉専門学校 6月17日～7月20日(1名)
10月26日～11月18日(2名)
- ・ YMCA 米子医療福祉専門学校 5月13日～6月14日(1名)
- ・ 琴の浦高等特別支援学校 11月15日～11月26日(1名)

(2) 視察・研修受け入れ

- ・ 11月2日 令和3年度学生のための福祉の職場見学支援事業
(県社協主催 日野高校2年生5名、教員1名、県社協職員2名)
- ・ 12月6日「企業見学ツアー」実施 鳥取労働局・ふるさと鳥取県定住機構主催
(一般求職者3名、鳥取労働局(ハローワーク)職員1名、定住機構職員3名)

- ・2月5日介護のお仕事親子体験バスツアー「介護の魅力発信」(中止)
(県社協主催 鳥取西部会場 2組 3名)

(3) ボランティア及び寄付行為

○令和3年度ボランティア実績 41件 134名

○令和3年度寄贈実績

12件 (野菜、米、タオル、写真等の寄贈)

○令和3年度寄付金実績 50件

(4) 講師等派遣

ホームヘルプセンターにちなんより日野高校介護職員初任者研修に係る社会人講師派遣を行った。

(5) イベント

介護者の集い、介護予防セミナー、家族介護者交流、出前講座等のイベントについて、令和3年度は開催しなかった。

6. 広報活動

(1) 広報あかね空 (年4回発行)

(2) 特養あかねの郷便り、ユニット便り、家族会便り (年4回発行)

(3) グループホームあさひの郷便り (年3回発行)

(4) ホームページ並びに Facebook 更新

(5) 県社協作成「介護のお仕事パンフレット」職員インタビュー掲載
(令和3年度高校生向け進路支援事業)

(6) 日南町「お仕事バンク交流会」事業参加 (12/11、3/13)

7. 経営改善 (コンサルティング委託) に関する内容について

業務委託先 : 次の2社と3社契約を締結

①株式会社山陰合同銀行 法人営業部

②株式会社日本経営 介護福祉コンサルティング部

業務内容 : 人事考課制度運用に向けた研修と導入支援

委託期間 : 令和3年4月1日(契約日)から令和3年12月31日まで

報告日 : 振り返り 令和3年12月14日(火)

○導入経過【抜粋要約】

(1) 考課者研修・被考課者研修の実施と支援の目的について

①人事考課制度の円滑な運用のため、人事考課制度についての正しい理解と手法について学ぶ。

②代表者と共に研修を組み立てることにより、今後、法人内で研修ができるようにする。

(2) スケジュール

①被考課者研修 (5月27日(木) 15:30~17:30 対象者 94名)

実施内容: 被考課者に対して、人事考課の正しい理解を促すための研修。人事考課の目的が自身の成長であることを認識する。仕組みやルールを正しく

理解する。

②考課者研修Ⅰ 評価編（6月2日（水）15:30～18:30 対象者28名）

実施内容：評価の仕方など人事考課の進め方についての研修として、目的を正しく認識する。また評価のルールについての理解をする。

対象：リーダー、主任、管理職

③考課者研修Ⅰ 面接編（7月8日（木）15:30～18:30）

実施内容：考課者に対して、上司としての面談や教育の方法についての研修として、目標設定に対するアドバイス、進捗管理、傾聴を通じて部下のモチベーション向上を図る。部下の頑張りを認め、仕事に対するやりがいを感じさせる。

④トライアル人事考課の実施

- 1) 各種評価表及びキャリアプランシートの送付
(被考課者、考課者へ配付)
- 2) 自己チェック及びキャリアプランシートの記入と送付
(被考課者→1次考課者 5/27～6/8)
- 3) 1次評価の実施及びキャリアプランシートの記入と送付
(1次考課者→2次考課者 6/8～6/22)
- 4) 2次評価の実施及びキャリアプランシートの確認と送付
(2次考課者→人事考課運営委員会 6/22～6/29)
- 5) 最終考課の確定と通知 最終評価決定デモ 6/29
(人事考課運営委員会→面談担当者 6/29～7/8)
- 6) 研修後報告・進捗確認 7/21

⑤振り返り・改善について

実施内容：アンケートの実施と人事考課結果の分析

人事考課結果フィードバックと改善（8月18日（水）13:00～16:00）

アンケートは7月23日（金）から8月6日（金）までの間、Googleフォームを用いての回答とした。被考課者については無記名、考課者については記名式で実施した（回答数：被考課者94名中88名、考課者28名全回答）。

アンケートの総まとめとして、以前と比較して被考課者にとって有意義な人事考課となっていること、また考課者の負担や不満、不安についても解消されていることが見受けられる。より良い制度にするため職種別考課表と働き方の指針の調整が必要であると考えられる。

職種別評価表について職種ごとの評価表とし、自己チェックの項目数の見直しを行った。

⑥考課者研修Ⅱ（10月8日（金）15:30～18:30 対象者28名）

実施内容：アンケート結果について報告

被考課者からの評価を受け止め、良い点と改善余地について把握し、今後の活動に活かすこととした。また、考課者のアンケート結果について確認し、他の考課者の現状について把握し、考課者全体としてレベルアップ

すべき点を理解する。

職種別評価表について職種ごとに項目を見直し、自己チェックの量ほか、細かな変更点の確認を行った。具体的内容のケースワークを実施。

⑦人事考課本運用

- 1) 各種評価表及びキャリアプランシートの送付
(被考課者、考課者へ配付)
- 2) 自己チェック及びキャリアプランシートの記入と送付
(被考課者→1次考課者 9/27～10/7)
- 3) 1次評価の実施及びキャリアプランシートの記入と送付
(1次考課者→2次考課者 10/11～10/22)
- 4) 2次評価の実施及びキャリアプランシートの確認と送付
(2次考課者→人事考課運営委員会 10/25～11/8)
- 5) 1次・2次評価の集計 (11/9～11/15)
- 6) 最終評価の確定 (11/16)
- 7) 最終評価結果の通知・面談
(人事考課運営委員会→面談担当者 12/1～12/31)
- 8) 今年度の振り返り (12/14)

(3) 今後の運用について

人事考課の運用は、評価期間を10月から翌年9月までとして、職種別考課表、働き方の指針により年1回の考課実施、キャリアプランシートにより年2回、異動があった場合は3回の面談を行うこととした。

人事考課結果については、冬期賞与と昇格時の要件として反映することとした。

人事考課のツールについて記録媒体(USB)の収受にて考課の入力をし、結果の集計について表計算シートに転記している。この人事評価の入力作業と結果集計の軽減を図れるよう、クラウドシステム(人事評価ナビゲーター)を令和4年度導入することを検討する。

コンサルタントの助言のもと、人事考課の体制を構築していく中、各管理者のマネジメントスキルの向上が必要であることが再確認された。令和4年度は管理者の育成を図り、管理体制の強化に取り組むこととした。

8. 記事

- (1) 4月1日、年度初め式
- (2) 4月1日、新採用職員研修実施(事務員1名、看護師1名)。
- (3) 4月中旬から日南町及び日南病院の協力のもと、新型コロナウイルスのワクチン接種(1回目)を事業所で行うこととし、まずご利用者と施設従事職員の優先接種を行った。その後5月中旬よりその他施設従事以外の職員への接種を行った。
- (4) 4月15日、経営改善(人事制度改革、人事考課制度導入支援)に関するコンサルタント業務契約を山陰合同銀行地域振興部及び株式会社日本経営と締結し、4月21日に初回打合せを行った。

- (5) 8月14日、断続的な大雨による日野川の増水に伴い、グループホームあさひの郷ご利用者について、あかねの郷東上町1丁目に避難した。建物被害はなし。
- (6) 11月1日、鳥取県福祉監査指導課による指導監査が3年ぶりに行われた。
- (7) 12月9日、日南町の支援により特養の入浴機器について、シャワー入浴機器の導入設置を行った。
- (8) 12月28日、仕事納め
- (9) 1月4日、新年年始式
- (10) 1月13日からコロナウイルスのワクチン接種（3回目）をご利用者、施設従事職員について行い、その他の職員についても2月中旬より順次行った。
- (11) 3月4日、日南福祉会実践報告会を新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、法人内職員のみで開催した。
- (12) 3月8日、2021年「24時間テレビ」福祉車両寄贈申込みにより採用され、贈呈式が行われた。（贈呈車両：リフト付きバス1台）
- (13) 各事業所行事等について
 - ・コロナ感染症対策を行いながら各事業所で季節の行事を実施
 - ・年間を通して誕生日のお祝い等を実施
 - ・ご利用者、ご家族へのアンケートを実施し、接遇改善や運営改善に取り組む

III 運営状況

1. 職員管理

区 分		説 明						
退職の採用・ 職員の採用・ 退職の状況	①採用の状況 (うち再雇用)	介護員	看護師	理学療法士	介護支援専門員	調理員	その他	合計
		10名 (3名)	1名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	2名 (0名)	8名 (0名)	21名 (3名)
	②退職の状況	退職日	定年退職	普通退職	期間満了	解雇	合計	
		令和3年3月31日付 年度中途	4名 -	2名 10名	3名 1名		20名	
	③職員数 (年度末時点)	令和2年度	正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合計
令和3年度		101名	10名	14名	22名	2名	149名	
		正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合計	
		94名	11名	17名	28名	1名	151名	
休業の取得状況 職員の休暇	①年次有給休暇の 取得状況	年間付与日数(最大)20日、翌年への繰越日数(最大)20日 一人当たり平均取得日数…9.08日 取得率(総取得日数/総付与日数および繰越日数)…28.18%						
	②特別休暇の取得状況	休暇の種類	休暇の内容			取得人数	合計取得日数	
		夏季	6/1～9/30の間に3日間取得可能な特別有給休暇			141名	376日	
		忌引	親族の喪に服したとき及び法要を営むとき等			24名	86日	
		資格取得	職務に関係ある資格試験を受けるとき			0名	0日	
		結婚	職員本人が結婚したとき			1名	6日	
		配偶者出産	職員の配偶者が出産したとき			2名	2日	
③育児休業の取得状況	産前産後検診	妊娠中または出産後1年を経過しない女性職員が 母子保健法に基づく保健指導または健康診査を受けるとき			3名	14日		
	看護・介護	未就学児童の病気、けがの看護及び予防接種や健康診断・ 家族に2週間以上の期間にわたり常時介護の必要があるとき			6名	23日		
	その他	理事長が必要と認めたとき(例: 検察審議会、災害ボランティア等)			0名	0日		
(3) 職員の懲戒処分の状況 (処分件数)	【新規取得】…2件 【期間延長】…4件 【前年度からの継続】…4件 【懲戒処分】…0件							
(4) 職員の研修の状況	開催日	研修の内容					参加人数	
	5月～6月	被考課者研修(集合、動画)					94名	
	6月7月10月	考課者研修(指導職・管理職)					28名	
	6月	管理職メンタルヘルス研修					9名	
	4月～6月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修					108名	
	7月～10月	福祉職員キャリアパス生涯研修					10名	
	6月	救命講習					119名	
	6月～3月	介護専門職研修(介護福祉士の実務に関する研修)					11名	
	11月～12月	同和問題職場研修会					25名	
	10月	感染症予防研修(コロナウイルス感染症対策研修動画)					119名	
	5月～9月	メンタルヘルス研修(セルフケア動画)					142名	
	7月～10月	リスクマネジメント研修					140名	
	12月～1月	コンプライアンス研修(第1回、第2回、録画視聴累計)					278名	
3月	実践報告会							
福利の状況 職員の状況	①健康診断の状況	<令和3年度> 定期健診 129名(805,725円) 特定業務従事者検診 59名(434,830円)						
	②職員の福利厚生事業	<日南福祉会職員互助会> 加入数 129名 事業内容…慶弔給付 ※職員旅行、交流会などは新型コロナウイルス感染症の 感染対策に伴い中止としました。						

2. 職員給与等

(1) 人件費の状況

区分	サービス活動収益	経常経費寄附金収益	人件費	福利厚生費	人件費率
令和2年度	千円 744,344	千円 1,015	千円 583,866	千円 2,046	% 78.82%
令和3年度	千円 746,913	千円 1,025	千円 581,037	千円 2,302	% 78.21%

※人件費率 = (人件費 + 福利厚生費) ÷ (サービス活動収益 - 経常経費寄附金収益) × 100 (%)

(2) 職員手当の内訳

職員手当の内訳	区分	職責手当	資格手当	扶養手当	時間外勤務手当
	本年度	千円 5,498	千円 5,819	千円 2,347	千円 6,274
	区分	夜間勤務手当	非常出勤手当	年末年始手当	深夜勤務手当
	本年度	千円 7,774	千円 70	千円 538	千円 5,129
	区分	住宅手当	待機手当	通勤手当	宿日直手当
	本年度	千円 5,927	千円 151	千円 6,693	千円 450
				千円 手当合計	46,670

(3) 職員一人あたりの給与

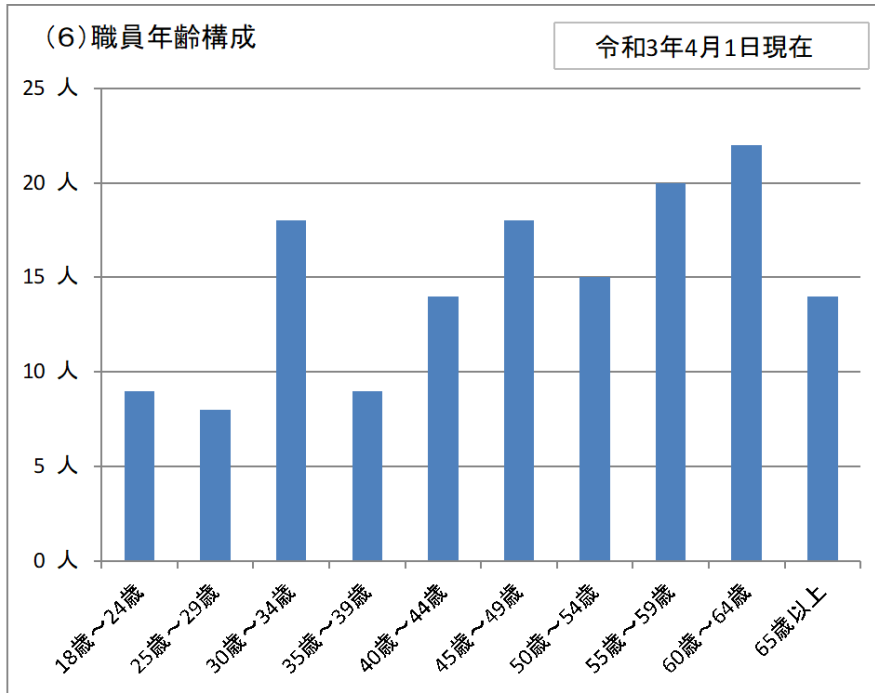
令和3年度	平均本俸月額	242,428 円	令和3年4月1日格付による
	平均給与月額	285,719 円	令和3年度決算額による
	平均年齢	47.65 歳	令和3年4月1日時点による

(4) 職員の賞与の支給状況

	正職員	準職員
夏期支給率	1.2 月	0.6 月
冬期支給率	2.0 月	1.0 月
支給率計	3.2 月	1.6 月

(5) 職員の初任給の状況

区 分		初 任 給 額	
介 護 職	大 卒 (四年)	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	160,800円	
	高 卒	149,300円	
看 護 職	大学・ 看護学校卒	正 看	206,800円
		准 看	177,300円
事 務 職	大 卒 (四年)	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	160,800円	
	高 卒	149,300円	



3. 役員報酬の支給状況

区 分	年 間 支 給 額	
役 員 報 酬	理 事 (7名※)	3,275,380円
	監 事 (2名)	140,628円
	評議員 (8名)	158,300円

※理事7名のうち5名は職員であり、役員報酬は支給していない。

<事業報告の附属明細書（定款第34条第1項第2号）>

令和3年度事業報告に係る「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成しないこととする。